



平成 19 年 5 月 15 日

各 位

会社名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 牛嶋 英揚
(コード番号：8734)
問合せ先 常務取締役管理部長 小島 健太郎
(電話 03-5447-8400)

平成 20 年 3 月期 4 月度の月末運用資産残高及び運用収益率のお知らせ

平成 20 年 3 月期 4 月度のプログラム別月末運用資産残高及び運用収益率につきまして、添付のとおりお知らせいたします。

1. 市況概況

4 月の商品市況は総じて堅調な展開となりました。

当社が公表しておりますアストマックス商品指数(AMCI)は3月末の305.309に対し、4月末は312.643となり2.49%の上昇となっています。

エネルギー市場はガソリン、貴金属市場は白金、パラジウム、また産業金属市場は銅、ニッケル、アルミニウムを中心として堅調に推移致しましたが、これらの背景としては、米国におけるガソリン供給に対する懸念、欧州における新規ETF上場のニュース等があげられます。

これに対し本邦株式市場は2月末の世界同時株式安以前の水準を回復した海外市場に比べ、依然として出遅れ感が強くTOPIX指数は3月末1,713.61に対し、4月末は1,701.00にて終了しております。

こうした市場環境の中、当社が運用する資産残高は前月比946百万円増(4.8%増)の20,624百万円となりました。

尚、個別の運用資産残高、月次収益率は以下のとおりとなっております。

2. 運用資産残高

(単位：百万円)

プログラム名		平成19年 4月	平成19年 5月	平成19年 6月	平成19年 7月	平成19年 8月	平成19年 9月
商品投資 顧問事業	アストジェネシス	1,042					
	アストプレリユード	281					
	アストオプション	182					
	AMCI	7,624					
証券投資 顧問事業	アストオプション	20					
	ファイナンシャル・ アストシンフォニー	315					
	アストジェルズ	196					
	債券運用戦略	7,915					
	その他	3,047					
合計		20,624					

プログラム名		平成19年 10月	平成19年 11月	平成19年 12月	平成20年 1月	平成20年 2月	平成20年 3月
商品投資 顧問事業	アストジェネシス						
	アストプレリユード						
	アストオプション						
	AMCI						
証券投資 顧問事業	アストオプション						
	ファイナンシャル・ アストシンフォニー						
	アストジェルズ						
	債券運用戦略						
	その他						
合計							

3. 運用収益率

(単位：月次収益率%)

プログラム名		平成 19 年 4 月	平成 19 年 5 月	平成 19 年 6 月	平成 19 年 7 月	平成 19 年 8 月	平成 19 年 9 月
商品投資 顧問事業	アストジェネシス	-0.19%					
	アストプレリユード	-1.58%					
	アストオプション	1.43%					
証券投資 顧問事業	アストオプション	0.06%					
	ファイナンシャル・ アストシンフォニー	0.06%					
	アストジェルズ	-1.32%					

プログラム名		平成 19 年 10 月	平成 19 年 11 月	平成 19 年 12 月	平成 20 年 1 月	平成 20 年 2 月	平成 20 年 3 月
商品投資 顧問事業	アストジェネシス						
	アストプレリユード						
	アストオプション						
証券投資 顧問事業	アストオプション						
	ファイナンシャル・ アストシンフォニー						
	アストジェルズ						

- (注) 1. 上記の数値は原則、毎月月初より 10 営業日までに開示いたします。
2. 運用資産残高は時価純資産額、または時価純資産額にノーショナル・エクイティ(想定運用資産)を加えたもので、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
- * 先物市場を使った運用の場合、実際に証拠金として必要な資金が少額であることから、顧客によっては実際に預託する資金に想定運用資産を加えた資産額で運用する様に契約上取り決めることが多く、通常、この契約運用資産額が管理報酬の計算上のベースとなっています。この様に顧客との契約運用資産額のうち実際に資金が預託されていない金額をノーショナル・エクイティ(想定運用資産)と言います。
3. 複数の契約が存在する運用プログラムについては当該プログラムのコンポジットを作成し運用資産残高、運用収益率を算出しております。また、運用収益率は、成功報酬を伴う運用プログラムについてのみ掲載しております。
4. 「アストオプション」に関しては商品投資顧問事業と証券投資顧問事業の二つの事業部門にありますが、両運用プログラムのうち、証券先物等で運用するものを証券投資顧問事業に、商品及び金融先物やその他の運用のものを商品投資顧問事業に分類しております。
5. 総運用資産残高につきましては 1%以上の修正が生じた場合はその内容を開示いたします。

以上